

令和5年度都立大山高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の指導の充実 ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・学期中や長期休業中における補習の実施 ・在校生の志望進路に適合した学習課題や単元の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期中や長期休業中における個別指導の実施 ・志望進路に適合する形式や内容での小論文や面接の個別指導
地歴公民	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的内容の徹底 ・社会的事象の意義を実感させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題などを必要に応じて設定する。 ・複数の教員で担当している教科については、連絡を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業期間に、大学進学を見据えた講座を開設する。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計算 ・数学的な見方 ・「課題解決」につなげるICT活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計算の定着のための寺小屋(週1回補講)の実施 ・Formsによる課題提出 ・学びの有用感を得る教材開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学受検に向けた補講の実施 ・長期休業を利用した様々な補講の実施
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項の徹底 ・科学の楽しさを伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題などを必要に応じて設定する ・個別対応を充実させ、苦手克服から大学進学対策まで広く対応する ・実験の充実や、身近な応用例の紹介を意識した授業を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ・SIP拠点校として、池プロジェクトを推進するとともに、希望者に日頃の取組や研究等の発表を斡旋する
保健体育	保健・体育ともに課題を発見すること	<ul style="list-style-type: none"> ・保健では自己の生活に当てはめて課題を探せるように、ケーススタディから思考を深める。その後、グループワークを通して多角的な視点から課題を発見する。・体育ではICT機器を活用し、撮影や見本動画を確認し、自己の姿を客観的に捉え、課題を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健では調べ学習等の研究的な取り組みを通して身近にある事象から自らの生活に当てはめた課題を探し出し、解決方法を見つける。・体育ではICT機器を活用して各自の端末に電子ポートフォリオを作成し、自己のペースでどこにいても振り返りが行えるようにする。
芸術	・学びに向かう力、人間性等」を育む	芸術に必要な能力「連想する力」であり、自己のイメージと関連付けて表現し、それを作品や音だけでなく言葉で人に伝える力をつけるために基礎から学ぶ	観察する力、予測する力、操作する力を芸術を通して学び、予測可能な未来に持続可能な社会の担い手としていくべくで人材を育てる。
英語	・大山高校の英語科として「組織的に」生徒の英語力の向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、週一回程度、英単語テストを行い、語彙力の向上に努める ・担当者間での会議を頻繁に行い、授業の進度、内容、評価方法を詳しく検討する。 ・実用英語技能検定等、外部の試験の受験を促し、必要に応じて指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7時間目の発展英語講習で、希望者により発展的な内容の授業を実施する。 ・長期休業中の講習を計画し、生徒の英語力向上に努める。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的知識の習得 ・裁縫の基礎的技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材を例に日常の生活と結び付けた授業の展開 ・映像の活用や達成感が得られやすい教材の選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトによる学びの発展 ・個に応じた指導の充実
情報	・情報社会における諸問題に対し、適切に対応できる能力を養う。	情報モラルやセキュリティの意識を高めるための学習活動を重点的に行う。情報機器の積極的な活用をする。	物事を論理的に考え、問題解決ができるような能力を養う。